

中間的就労を考える シンポジウム



より多くの方が仕事に、社会に、
地域に参加できるように

中間的就労の実施について理解していただくと共に
働ける環境づくりと働くきっかけづくりを現場の声
と共にご紹介いたします。

- 中間的就労とは、社会福祉法人やNPO法人等の団体が提供する、支援付きの就労の場のことです。
- いわゆる引きこもり状態にある方や長期間失業状態が続いている方などが、受入先での職業訓練を受けながら、一般就労を目指します。

平成26年**5月31**日(土) **13:30~16:30**

【場所】札幌市教育文化会館 研修室301号室（札幌市中央区北1条西13丁目）

* 講演 * ~中間的就労とは?~

『誰もが活躍できる仕事を考える』

【講演者】 川口 加奈 氏
(NPO法人 Homedoor 代表)

■川口加奈さんプロフィール■

14歳でホームレス問題に出会い、19歳で大阪市立大学在学中に起業。日本の貧困を考える釜ヶ崎の街歩きやワークショップを開催。またホームレス状態からの脱出手段の一つである生活保護が機能していないことに着目し、生活保護受給者に就労と自立の場を同時に提供する「HUBchari」「HUBgasa」プロジェクトを立ち上げる。

<http://www.homedoor.org>



* 中間的就労の実施について・・・ご紹介します *

【中間的就労の実例講話】

NPO 法人陽だまり	フレンドリーハウス	施設長	加藤佳子	様
アイダ企画		代表	屋代育夫	様
株式会社特殊衣料		営業二課主任	遠藤公一	様